

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公開番号】特開 2005-301143 (P2005-301143A)

【公開日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報 2005-042

【出願番号】特願 2004-120633 (P2004-120633)

【国際特許分類】

G 0 3 H 1/26 (2006.01)

G 0 3 H 1/10 (2006.01)

G 0 3 H 1/22 (2006.01)

G 1 1 B 7/0065 (2006.01)

【F I】

G 0 3 H 1/26

G 0 3 H 1/10

G 0 3 H 1/22

G 1 1 B 7/0065

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 6】

まず、図 2 (A) に示されるように、ホログラフィック記録媒体 16 の表面と直交する方向から信号光を、又、この信号光に対して θ_1 の角度から参照光を、それぞれ照射して両者の干渉縞を形成する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 8】

従って、例えば、図 6 に示されるように、下位フォーマット媒体 LM2 における角度ピッチが複数種類ある場合（この例では、2 種類、即ち、入射角 θ_D 、 θ_E 間の角度ピッチ θ_{LM} が 3、入射角 θ_E 、 θ_F 間の角度ピッチ θ_{LM} が 6）には、上位フォーマット媒体 UM2 における角度ピッチ θ_{UM} が、下位フォーマット媒体 LM2 の角度ピッチ θ_{LM} （3 及び 6）の約数、即ち、3 又は 6 を含む角度ピッチとされていることが好ましく、特に、約数である 3 又は 6 が、最大公約数である 3 とされていることが好ましい。